

尾張旭市営バスに係る 運行見直し検討について



令和6年5月28日
尾張旭市

市営バスあさぴー号が抱える課題や要望

(令和4年度第4回尾張旭市地域公共交通会議で提示)

- ①午前中の利用集中に伴う乗りこぼしの発生
- ②年末年始の運行要望
 - ➔ 令和5年12月に年末試験運行を実施
- ③停留所設置・移設要望
 - ➔ 令和5年10月に「大森北」停留所、「東大久手」停留所を新設
- ④上記以外の各種要望



あさぴー号が抱える課題や要望については、
年末試験運行の実施や停留所の新設等の取組が進んでいる一方で、
「乗りこぼし」についても取組が必要な状況となっている。



運行状況を分析したところ、
各ルートにおける利用状況の傾向が明確になってきたことから、
利用者ニーズに合致した運行内容への見直し検討を進める。
(令和5年度第3回尾張旭市地域公共交通会議で提示)

2. 乗りこぼしの発生状況

【あさぴー号の運行状況】

H29～R5 乗りこぼし件数内訳

年度	西ルート						合計	東ルート						合計
	右回り			左回り				右回り			左回り			
	1便 8:10~ 9:45	2便 9:20~ 10:50	3便以降	1便 8:40~ 10:15	2便 10:00~ 11:30	3便以降		1便 8:40~ 10:15	2便 10:00~ 11:30	3便以降	1便 8:10~ 9:40	2便 9:20~ 10:50	3便以降	
H29	9	4	1	9	1	3	27	5	3	1	0	0	1	10
H30	5	0	0	9	1	1	16	2	3	0	0	0	0	5
R1	4	2	0	12	1	1	20	3	5	0	0	0	0	8
R2	1	0	0	2	0	0	3	1	5	0	0	1	1	8
R3	2	0	0	1	0	0	3	0	0	1	0	0	0	1
R4	10	0	0	8	1	0	19	2	2	1	0	0	0	5
R5	14	2	1	12	0	1	30	5	11	1	0	0	1	18
合計	45	8	2	53	4	6	118	18	29	4	0	1	3	55

東ルート右回り1・2便の乗りこぼし発生状況



西ルート左回り1便の乗りこぼし発生状況



【乗りこぼし発生状況の詳細】

- 利用者の増加及び午前中の通院、駅利用、買い物を目的とした利用集中に伴う乗りこぼし件数が増加し、令和5年度には、48件の乗りこぼしが発生（令和4年度の24件から件数が倍増）。
- 西ルートでは、右回り、左回りの1便で特に乗りこぼしが多く発生している。右回り1便は、市役所周辺に銀行・郵便局があることやアスカの開店時間に合うことなどから発生頻度が高くなっている。左回り1便は、市の西部地域から愛知医大への移動が集中し、発生頻度が高くなっている。
- 西ルート左回り1便での愛知医大の到着は、最も早い時間で午前9時41分となっているが、利用者からは、診療開始時間の午前8時30分前後に到着する運行を望む意見が挙がっている。
- 東ルートでは、右回りの1・2便を中心に乗りこぼしが発生しており、イトーヨーカドーの開店時間に合う2便での発生頻度が特に高い。

利用状況に応じた運行となっていない。
利用者アンケートでは、運行ダイヤに対する不満割合が高い。
現行ルートでは、車両変更による輸送力の強化は困難。

利用状況に応じた運行内容の検討 が必要

3.運行見直しの方向性

【乗りこぼし発生状況の詳細】 ※再掲

- 利用者の増加及び午前中の通院、駅利用、買い物を目的とした利用集中に伴う乗りこぼし件数が増加し、令和5年度には、48件の乗りこぼしが発生(令和4年度の24件から件数が倍増)。
- 西ルートでは、右回り、左回りの1便で特に乗りこぼしが多く発生している。
右回り1便は、市役所周辺に銀行・郵便局があることやアスカの開店時間に合うことなどから発生頻度が高くなっている。
左回り1便は、市の西部地域から愛知医大への移動が集中し、発生頻度が高くなっている。
- 西ルート左回り1便での愛知医大の到着は、最も早い時間で午前9時41分となっているが、利用者からは、診療開始時間の午前8時30分前後に到着する運行を望む意見が挙がっている。
- 東ルートでは、右回りの1・2便を中心に乗りこぼしが発生しており、イトーヨーカドーの開店時間に合う2便での発生頻度が特に高い。



ただし、自動車運転手の労働時間等の規制強化(2024年問題)や公共交通の運転手不足により、**現行以上に運転手を配置して対応することとなる運行本数の増加は困難**

■西ルート左回りの乗りこぼしについては…

- ①特に高頻度で乗りこぼしが発生している左回り1便での利用者の分散
- ②左回り1便の現状のダイヤよりも早い時間での運行を希望する利用者ニーズに対応

①②を目的として、現行の運転手の人数で対応できる**印場駅から愛知医大までの早朝特別ダイヤを試験的に設定**(運行ダイヤ案は資料3-2のとおり)。

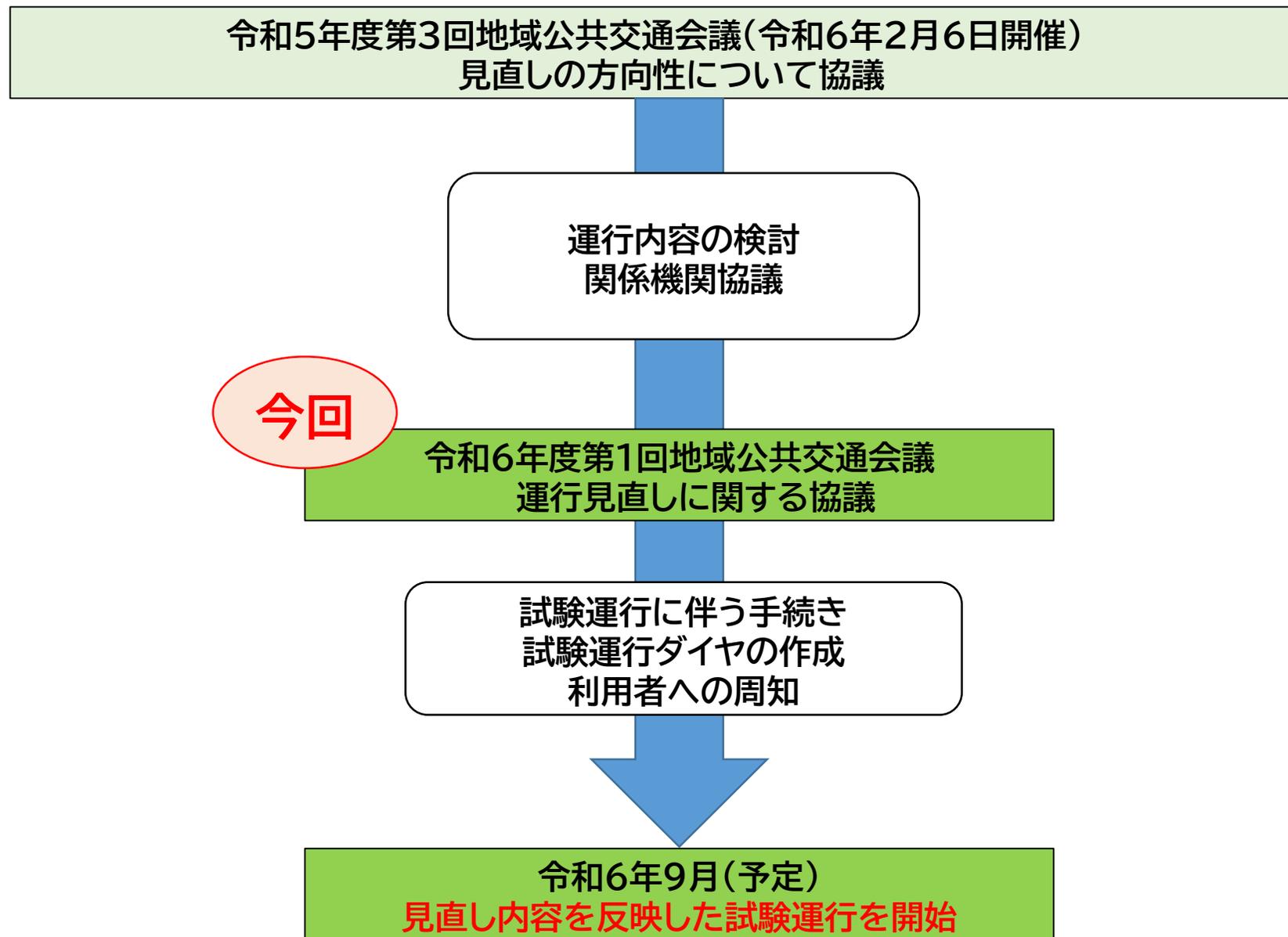
※試験運行の利用状況を把握・分析し、令和7年度の本格運行の移行をめざす。

□あさぴー号全体の乗りこぼしについては…

西ルート右回り1便、東ルート右回り1・2便をはじめとした利用者の分散

以上を目的として、車内の混雑状況をリアルタイムで把握できるバスロケーションシステムを導入し、**利用者が乗りこぼしのリスクを事前に確認できる環境を整備**(導入予定時期:令和7年2月)。

4.見直し検討スケジュール



5.試験運行詳細スケジュール

	令和6年度												令和7年度							
	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10		
第1回地域公共交通会議での協議 (試験運行)	★	5/28																		
試験運行に係る届出手続		↔																		
利用者への周知(試験運行)			↔																	
試験運行期間					←													→		
利用状況の把握・分析						←												→		
第2回地域公共交通会議での報告 (試験運行)							↔													
第3回地域公共交通会議での報告 (試験運行)									↔											
第1回地域公共交通会議での協議 (本格運行)													↔							
管理運営規則の改正手続														↔						
利用者への周知(本格運行)															↔					
本格運行開始																		←		

※本スケジュールは現時点での予定であり、変更の可能性があります。